

グリーンフロンティアプラン推進で低炭素社会を築く ～平成22年度環境モデル都市予算～

昨年3月策定の環境モデル都市行動計画（グリーンフロンティアプラン）に基づき、22年度から環境モデル都市としての本格的な取組を進める。環境モデル都市は、環境を機軸とした、都市、産業・経済、人材、社会の変革・発展であり、さらには、アジアの持続可能な低炭素社会づくりを推進し、大幅な温室効果ガスの削減と、豊かな暮らしや健全な経済成長を実現する。

平成21年度からの当初5年間は、「市民が見て感じるリーディングプロジェクトの実施」、「目標を定めての全市民的運動の展開」「世界に誇れる環境学習システムの構築」「市の率先垂範」に重点を置き、環境モデル都市としての基盤を固めることを予定している。平成22年度予算案では、前年度より事業数、額ともに強化し、基盤づくりの2年目として、本格的な取組を進めるとともに、市民や企業活動の支援を進め、100万人の一步を進め、希望のたすきと夢のバトンを次世代に引き継いでいく。

【予算総額】

154事業、約44億2千万円（うち新規40事業、約14億4千万円）

【予算のポイント】

「見える化・感じる化」重点プロジェクトに本格着手

（関連予算）

低炭素先進モデル街区形成推進事業（11,420千円）

新 低炭素型の街づくり事業（小倉・黒崎中心部などの低炭素施設整備等）（794,500千円）

新 八幡東田スマートコミュニティ構想推進事業（7,200千円）

響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業（84,910千円）

新エネルギー導入等に関して、太陽光発電の普及、潮力発電実証に着手

（関連予算）

地球温暖化対策推進助成事業（53,000千円）

新 低炭素社会「見える化」推進事業（32,000千円）

新 クリーンエネルギー資源実証調査（47,358千円）

北九州商工会議所等と連携し、産業界の取組を促進

(関連予算)

- 新 環境産業ネットワーク形成事業 (4,300 千円)
- 新 先導的低炭素技術拠点形成事業 (88,020 千円)
家庭・建築物省エネ改修・新エネ導入促進事業 (14,091 千円)
- 新 新北九州エココンビナート推進事業 (3,000 千円)

交通・運輸の新しいスタイルを提示

(関連予算)

- 新 EV活用環境向上のための充電ネットワーク整備事業 (20,000 千円)
- 新 公用車における低公害車普及事業 (5,800 千円)
モーダルシフト推進補助事業 (10,000 千円)
ノーマイカー推進事業 (1,000 千円)

Super CAT 整備の本格着手

(関連予算)

- 低炭素社会総合学習システム (Super CAT) 構築事業 (5,500 千円)
- 新 「環境体験科」推進事業 (11,600 千円)
- 新 市民センターのエコ改修・ショールーム化事業 (60,000 千円)

取組を世界にアピールするとともに、アジアへ環境技術をビジネス展開

(関連予算)

- 新 (仮称) アジア低炭素化センター創設事業 (38,000 千円)
環境モデル都市アクションプラン推進事業 (25,000 千円)

【分野別の取組み】

1 環境が先進の街を創る(低炭素社会を実現するストック型都市への転換)

【61 事業 約 25 億 9 千万円】

北九州市の高度な素材技術、工場とまちの近接性等を活かし、長寿命でコンパクトな都市を目指すとともに、街の様々な場への太陽光発電導入や、次世代自動車の導入など、街の低炭素化を進める。

2 環境が経済を拓く(低炭素化に貢献する産業クラスターの構築)

【35 事業 約 8 億 3 千万円】

低炭素社会に必要な技術開発、サービス提供等を行い、環境付加価値の高い産業構造へ変革を図る。このため、産業界が低炭素社会づくりに向けて取り組める仕組みづくりや、低炭素化に資する企業の誘致活動により、産業集積を進めるとともに、スマートコミュニティ構築に取り組む。

3 環境が人を育む(低炭素社会を学び行動する学習・活動システムの整備)

【26 事業 約 3 億円】

市民が低炭素社会づくりに必要な知識を総合的に学べるようにするため、市民センターなど身近な場所でエコ改修・ショールーム化を進めるとともに、市内に多数ある学習施設等を有機的に連携させ、低炭素学習プログラムを開発する。

4 環境が豊かな生活を支える(低炭素社会づくりを通じての豊かな生活の創造)

【20 事業 約 5 億 3 千万円】

市民の意識を高め、これを低炭素社会実現への社会変革に結び付けていくため、楽しく親しみを持って進められるムーブメントづくりや市民活動の支援を行うとともに、カーボンオフセット・エコポイント統合システムなどの仕組みを構築する。

5 環境がアジアの絆を深める(低炭素社会づくりのアジア地域への移転)

【12 事業 約 1 億 8 千万円】

アジアの低炭素化を牽引する拠点機能として、(仮称)アジア低炭素化センターを創設するとともに、共同事業を実施し、アジア全体の低炭素社会の実現と豊かな発展に貢献する。

参考 平成 22 年度環境モデル都市を支える基盤整備 8 事業、約 184 億 6 千万円

平成 21 年度環境モデル都市関連当初予算

138 事業、約 33 億 3 千万円 (うち、新規 32 事業、約 7 億 3 千万円)

【主な事業】 ○:平成 22 年度当初予算 ●:平成 21 年度補正予算

1 低炭素社会を実現するストック型都市への転換（61 事業、25 億 9 千万円）

○低炭素先進モデル街区形成推進事業

小倉北区域野地区において、基盤整備の段階から総合的な低炭素技術・方策を導入し、先進的なCO₂排出削減を実現する低炭素先進モデル街区の形成を図るため、実証実験などを行いながら、整備計画を策定する。

（予算額:11,420 千円 担当課:建築都市局事業調整課 582-2864）

○紫川エコリバー構想推進事業

市民や来訪者の多く集まる小倉都心部において、太陽光発電や屋上緑化等の環境対策を積極的に推進し、将来の低炭素社会の姿を市民に示すとともに、モデル都市の顔にふさわしい街づくりやにぎわいの創出につなげる。

（予算額:3,500 千円 担当課:環境局環境首都政策課 582-2238）

○**新** 低炭素型の街づくり事業(都・浅野町線シンボルロード整備、小倉駅周辺ペDESTリアンデッキ太陽光パネル設置)

小倉都心部で持続可能な都市環境創造に向け、ペDESTリアンデッキへの太陽光パネル導入（グリーンニューディール基金活用）等を行う。

（予算額:260,000 千円 担当課:建設局道路計画課 582-3888）

○**新** 低炭素型の街づくり事業((仮称)グリーンエコハウス整備事業)

環境モデル都市の「見える化・感じる化」を進めるため、シンボル公園である勝山公園において、太陽光発電や LED 照明等を活用した「(仮称)グリーンエコハウス」を整備する。

（予算額:41,000 千円 担当課:建設局公園建設課 582-2460）

○**新** 低炭素化社会「見える化」推進事業

「北九州グリーンフロンティアプラン」のリーディングプロジェクトを実施する地域において、民間事業者が行う複合的な環境配慮型の施設整備に対して支援を行う。

（予算額:32,000 千円 担当課:環境局環境首都政策課 582-2238）

○**新** 環境モデル都市シンボル事業(北九州空港低炭素化)

北九州空港の低炭素改修(太陽光パネルや LED 照明)を実施し、温室効果ガスの削減を進めるとともに、広く低炭素社会づくりの PR(見える化、感じる化)を行うための基本検討を行うもの。

（予算額:2,600 千円 担当課:環境局環境首都政策課 582-2238）

○中心市街地共同住宅供給事業

まちなか居住の促進と市街地環境整備を図るため、中心市街地活性化基本計画（黒崎地区）区域内で供給される優良な共同住宅を 5 年間（20～24 年度）で 300 戸認定し、戸当り最大 100 万円の建設費補助を行う。

（予算額:93,600 千円 担当課:建築都市局住宅計画課 582-2592）

○市営住宅CO₂削減対策事業

環境配慮型建築物の普及促進のため、市営住宅の建替えにあわせ、屋上部分に太陽光発電を設置し、CO₂削減に取り組む。

（予算額:15,200 千円 担当課:建築都市局住宅整備課 582-2548）

新 環境首都総合交通戦略推進事業

過度のマイカー利用から、環境負荷の軽減等につながる公共交通利用への転換を促すため、駅・主要なバス停において乗り継ぎ環境等を改善する交通結節機能の強化など、短中期の交通施策を盛り込んだ「環境首都総合交通戦略」を推進する。

(予算額:38,000千円 担当課:建築都市局都市交通政策課 582-2518)

新 公用車における低公害車普及事業

市役所が次世代自動車を率先導入することにより、市民の信頼確保、認知度向上を図り、需要を喚起する。電気自動車7台、プラグインハイブリッド車1台を新規導入する。

(予算額:5,800千円 担当課:環境局環境首都政策課 582-2238)

ノーマイカー推進事業

低炭素社会実現に向け、マイカー使用抑制によるCO₂削減に取り組み、「ノーマイカーキャンペーン」を実施し、広く市民への普及啓発を図る。

(予算額:1,000千円 担当課:環境局環境首都政策課 582-2238)

モーダルシフト推進補助事業

貨物トラック等による輸送を、環境負荷の少ない輸送手段(鉄道貨物、内航コンテナ船、フェリー等)に転換する事業に対して補助金を交付することで、運輸・物流部門でのCO₂削減策を推進するとともに、北九州港の利用促進を図る。

(予算額:10,000千円 担当課:港湾空港局物流振興課 321-5941)

アクアフレッシュ事業及び直結式給水の普及促進

貯水槽を経由することなく、配水管内の水圧を有効活用する給水方式である直結式給水の普及・促進を行う。また、市立小中学校を対象に、直結式給水への切り替えにかかる工事費の一部を負担するものアクアフレッシュ事業を実施する。

(予算額:35,000千円 担当課:水道局配水管理課 582-3066)

水道施設への太陽光発電システムの導入

配水池等の水道関連施設に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギー活用によるCO₂削減を図る。

(予算額:20,000千円 担当課:水道局浄水課 582-3155)

クールミスト事業

水道水を活用したミスト冷却装置を設置することで効率的に街を冷却し、その効果を体感してもらう。また、原理やその他事例を説明し、広くPRすることで、企業・商店・家庭等への普及を促す。

(予算額:5,000千円 担当課:水道局浄水課 582-3155)

響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業

響灘地区の緑の回廊づくり等による環境創造を通じて、産業と自然が調和した地区として再構築を図るとともに、市民と自然のふれあいの場として整備を行う。

(予算額:84,910千円 担当課:環境局環境首都政策課 582-2238・環境局施設課 582-2184)

新 低炭素型街づくり事業(下水施設への太陽光発電システムの導入等)

下水施設への太陽光発電システムの導入を進める。

(予算額:260,000千円 担当課:建設局施設課 582-2485)

新 森林整備加速化・林業再生事業

間伐材等の森林整備の加速化と地域林業等産業の再生を図る。

(予算額:5,725千円 担当課:産業経済局農林課 582-2078)

2 低炭素化に貢献する産業クラスターの構築（35 事業、8 億 3 千円）

○**新** 八幡東田スマートコミュニティ構想推進事業

環境配慮のまちづくりが進んでいる東田地区で、エネルギー基盤と ICT 基盤を融合させたスマートグリッドを構築して低炭素社会実現に向けた先導的な役割を果たすとともに、地域産業の振興にもつなげるため、地域推進協議会を設置し、準備を進める。

（予算額：7,200 千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

○家庭・建築物省エネルギー改修・新エネルギー導入促進事業

家庭・業務部門からの CO2 を減らすため、省エネ・新エネ対策相談窓口の開設、家庭・事業所向けの省エネ診断の実施等に取り組む。

（予算額：14,091 千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

●**新** クリーンエネルギー資源実証調査事業（H22年2月補正）

「緑の分権改革」に基づき地域資源を最大限活用する仕組みをつくるため、市域内の太陽光発電や小水力発電などのクリーンエネルギー資源のふ存量調査やその活用に向けた実証調査を行う。

（予算額：47,358 千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

○**新** EV活用環境向上のための充電ネットワーク整備事業

EV用の急速充電器を 1 基（市役所本庁舎）、200Vの充電設備（各区役所）を7基設置する。

（予算額：20,000 千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

○**新** 環境産業ネットワーク形成事業

地球規模での持続可能な社会の実現及び低炭素社会づくりに向け、「北九州市環境産業推進会議」を設置し、経済団体、事業者、大学等と連携した環境産業の推進を行っていくとともに、低炭素ビジネスモデルなど具体的な仕組みづくりに着手する。

（予算額：4,300 千円 担当課：環境局環境産業政策室 582-2630）

○**新** 新北九州エコ・コンビナート推進事業

産業圏と生活圏との連携を進め、先進的な資源エネルギー循環都市の構築を目指す「北九州エコ・コンビナート構想」の実現に向け、工場廃熱等未利用エネルギーを活用した具体的な事業立ち上げに向けたプロジェクトを推進する。

（予算額：3,000 千円 担当課：環境局環境産業政策室 582-2630）

○環境未来技術開発助成事業

循環型経済社会及び低炭素社会の実現に向け、環境分野の課題解決に先導的な役割を果たすことを目的とし、本市への環境技術の集積や環境産業の技術力の強化を図り、先進的かつ実現性の高い環境技術に関する研究開発を支援する。

（予算額：89,300 千円 担当課：環境局環境産業政策室 582-2630）

○**新** 先導的低炭素化技術拠点形成事業

環境モデル都市の取組を技術や産業面で推進するため、地域中核企業、大学、F A I S、市などによる産学官の新たな「先導的低炭素化技術研究推進戦略会議（仮称）」を設置し、低炭素化技術に関する研究開発から実証実験まで、学研都市の支援体制を一本化するとともに、事業化を目指した戦略的な技術開発プロジェクトを創出、推進し、新たな環境産業の集積と振興を図る。

（予算額：88,020 千円 担当課：産業経済局新産業振興課 582-2905）

○**新** 環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金

低炭素社会の実現に不可欠な、温室効果ガスの削減に貢献する技術開発、または製品製造に取り組む企業（環境技術革新企業）の本市への集積を促すために、対象企業に対し助成金を交付するもの。

（予算額：120,000 千円 担当課：産業経済局誘致課 582-2065）

○**新** 環境モデル都市企業集積促進事業

環境モデル都市の更なる発展を図るため、市内企業のものづくりに対する熟練した技術などを活用した新たな環境技術・製品の開発を促進するとともに、環境・エネルギー関連製品の技術開発に意欲的な企業の誘致を積極的に行う。

（予算額：5,000 千円 担当課：産業経済局誘致課 582-2065）

○**新** 先端パワーデバイス拠点化推進事業

低炭素社会の実現に向けて、電力の有効利用をはじめ、自動車や電車、家電製品等の省エネルギー化に貢献する基盤技術として期待されている先端パワーデバイスの研究開発について、研究機能を設置し、拠点化に向けた取組みを推進する。

（予算額：23,200 千円 担当課：産業経済局新産業振興課 582-2905）

○**新** 環境配慮型港湾形成事業

環境モデル都市に相応しい港湾を形成するための施策・事業について調査・検討を行う。

（予算額：5,800 千円 担当課：港湾空港局計画課 321-5967）

○**新** グリーンエネルギーポートひびき立地促進事業

響灘地区の「多様な港湾インフラ」、「広大な産業用地」、「アジアに近接するロケーション」という港湾空間に立地必然性が高い産業（環境・エネルギー産業）に明確にターゲットを絞り、集中的に大型立地・物流拠点化を図る。

（予算額：10,000 千円 担当課：港湾空港局立地促進課 582-2994）

3 低炭素社会を学び行動する学習・活動システムの整備（26事業、3億円）

○低炭素社会総合学習システム(Super CAT)構築事業

市内に多数ある環境学習施設を有機的に連携させ、周遊しやすいシステムを設置し、すべての市民が、低炭素社会づくりに必要とされる知識を総合的に学べるような環境学習システムを構築する。

（予算額：5,500千円 担当課：環境局環境学習課 582-2784）

○**新** 市民センターのエコ改修・ショールーム化事業

市民活動拠点として、幅広い年齢層が集う市民センターに低炭素型設備（太陽光パネル、省エネ型機器など）の複合的導入を行い、市民に低炭素社会生活を実感してもらい、家庭生活での実践につなげていく。

（予算額：60,000千円 担当課：総務市民局市民センター室 582-2991）

○**新** 「環境体験科」推進事業

自ら行動できる子どもの育成の観点から、総合的な学習の時間等において、小学校4年生で「環境体験科」として、環境体験活動を取り入れた学習を実施するとともに、小学校から中学校までの系統的な環境教育プログラムの作成を行う。

（予算額：11,600千円 担当課：教育委員会指導第一課 582-2367）

○環境教育推進事業

子ども環境サミットや北九州エコツアーを実施するとともに、わが街わが校の環境作戦と題しての各校における特色ある環境教育活動を実施する。また、環境教育推進指定校において、先進的環境教育を進める。

（予算額：9,620千円 担当課：教育委員会指導第一課 582-2367）

○野外教育等推進事業

自然体験活動等を通じて、青少年の自然を大切に作る心等を育てる。

（予算額：2,007千円 担当課：子ども家庭局青少年課 582-2392）

○水源地交流事業

水源地域の取組みに対し、市民への参加呼びかけや活動への支援を行い、水源水質の浄化対策を進める。

（予算額：3,277千円 担当課：水道局総務課 582-3131）

4 低炭素社会づくりを通じての豊かな生活の創造（20事業、5億3千万円）

○地球温暖化対策推進助成事業

家庭部門や業務部門において、太陽光発電や屋上緑化をはじめとする新エネルギー、省エネルギーに係る整備費用の一部を補助し、地球温暖化問題の解決に貢献するとともに持続可能な都市づくりを推進する。

（予算額：53,000千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

○環境モデル都市アクションプラン推進事業

環境モデル都市を推進するため、市民等への支援制度や、低炭素都市推進協議会等の仕組みを活用した国・関係機関への支援獲得のための働きかけを継続し、併せて、国内外へのアピールを積極的に進める。

（予算額：25,000千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

○**新**北九州カーボンオフセット・エコポイント統合システム推進事業

市民によるCO2削減行動にエコポイントを付与して市民行動を促進するエコポイントシステムと、カーボンオフセットシステムを組み合わせた持続可能な仕組みを構築するため、必要な調査・検討を行う。

（予算額：3,000千円 担当課：環境局環境首都政策課 582-2238）

○**新**環境学習推進事業

低炭素社会づくりに向けたPRや、わが街の優れた環境を発掘し情報発信する「環境自慢」の実施、さらに持続可能な開発のための教育（ESD）の推進事業を行う。

（予算額：15,022千円 担当課：環境局環境学習課 582-2784）

○北九州エコライフステージ開催事業

市民団体、事業者、行政などが日頃の環境活動に基づく低炭素社会づくりにつながるエコライフを提案する。また、各主体が情報交流等を行い、環境活動のネットワークを推進する。

（予算額：17,484千円 担当課：環境局環境学習課 582-2784）

○地産地消推進事業

地産地消サポーター制度の充実や学校給食等への利用拡大、食農教育などにより、地産地消を進める。

（予算額：7,978千円 担当課：産業経済局地産地消推進課 582-2080）

5 低炭素社会づくりのアジア地域への移転（12事業、1億8千万円）

○東アジア(環黄海)経済交流推進機構推進事業

環黄海圏の日中韓 10 都市との連携により、共同プロジェクトとして、海岸クリーンアップ事業、ライトダウン事業、環境教育教材作成の検討を進める。

（予算額:2,597 千円 担当課:企画文化局アジア交流課 582-2162）

○環境国際協力推進事業

（仮称）アジア環境都市機構の活用を推進する。また、マレーシアでは、市民参加型廃棄物管理促進事業を、タイでは、環境と観光を組み合わせた廃棄物管理事業を実施し、問題解決の方策を提案する。

（予算額:12,548 千円 担当課:環境局環境国際協力室 582-3804）

○**新**（仮称）アジア低炭素化センター創設事業

環境技術や社会技術のアジア地域への積極的な移転を進め、社会の仕組みの変革を図り、新しい価値観や文化を創造する“アジアの低炭素革命”の拠点を目指し、国内初となる「（仮称）アジア低炭素化センター」を創設する。

（予算額:38,000 千円 担当課:環境局環境国際協力室 582-3804）

○上水道分野における無収水量対策技術等の移転によるCO₂削減協力

カンボジアの首都プノンペンにおいて、漏水削減及び直結式給水の拡大を図る等、省エネルギー化を進める。

（予算額:2,824 千円 担当課:水道局総務課 582-3131）

○国際競争力強化事業

アジア諸国との経済交流や海外人材活用事業を通じ、環境ビジネス創出やコーディネーター育成を図る。

（予算額:30,266 千円 担当課:産業経済局貿易振興課 551-3605）

○環境国際ビジネス促進事業

市内企業の環境国際ビジネス展開を支援するため、北九州エコプレミアム等の市内企業の環境技術・製品の国際展開を目的とした商談会を中国で開催する。また、環黄海地域の環境改善に向け、東アジア経済交流推進機構・環境部会を開催し、全都市参加の共同プロジェクトの実現に取り組む。

（予算額:8,953 千円 担当課:環境局環境国際協力室 582-3804）